

常任委員会のしごと

令和2年5月～10月の動き

常任委員会とは？

- 1 議員が分野別のグループに分かれて、市の仕事について、専門的に議論を行うために設置している。
- 2 5つの常任委員会で、1年を通じて毎月2回程度、会議や調査を行っている。

主な活動内容

- 審査** 本会議で委ねられた議案や、市民の皆様からの要望である請願・陳情を審査する。
- 報告聴取** 市の仕事について報告を聴取し、質疑や議論を行う。
- 一般質問** 担当分野全般にわたり、現状や将来に向けての方針の確認、政策提案等を行う。
- 他都市調査** 他都市の先進的な事例を調査する。
- 実地視察** 主に市内の施設等の現状を把握する。



総務消防委員会 (井上けんじ委員長)

報告聴取

- ①京都市持続可能な行財政審議会の設置(6/22)
「極めて厳しい財政運営」の中、新型コロナウイルス感染拡大に伴う財政危機に対応するため、行財政改革について議論する「京都市持続可能な行財政審議会」の設置について議論しました。
- ②次期京都市基本計画案(10/20)
次期京都市基本計画案の市民意見募集に当たり、コロナ禍と厳しい財政状況等を踏まえた計画案の内容や市民意見の反映手法などを議論しました。



委員会質疑



文化環境委員会 (平山よしかず委員長)

報告聴取

- 「京都市地球温暖化対策条例」の改正の骨子(案)に関する市民意見の募集(9/8)**
「2050年二酸化炭素排出量正味ゼロ」の実現に向け、地球温暖化対策条例の改正案における取組の内容などについて議論しました。

実地視察

- 京都市京セラ美術館(8/18)**
リニューアルされた美術館における展覧会開催や入場者数の状況、「新しい生活様式」を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策などの説明を受け、館内を視察しました。



実地視察



教育福祉委員会 (さくらい泰広委員長)

年間テーマ「教育福祉行政に係る新型コロナウイルス感染症対策」及び「インクルーシブ教育」

報告聴取

- ひきこもり支援の再構築(9/9)**
年齢によって分かれていた相談窓口を、切れ目のないひきこもり支援を行うため一元化したことを踏まえ、相談の受付状況や支援体制などについて議論しました。

実地視察

- 京都市青少年科学センター(9/9)**
リニューアルオープン前のプラネタリウムを訪問し、デモ投映を鑑賞のうえ、センター内での新型コロナウイルスの感染拡大防止策などを確認しました。



実地視察



まちづくり委員会 (中野洋一委員長)

年間テーマ「みどり豊かな都市環境の創出」

報告聴取

- 新景観政策の更なる進化「地域のまちづくりの推進と特例制度の活用」に関する市民意見の募集(10/20)**
地域ごとのビジョンや特性に応じたまちづくりの展開、建物の高さやデザインの規制に関する特例制度の活用など、具体的な施策案の内容について議論しました。

実地視察

- 京都京北小中学校(8/6)**
京都京北小中学校におけるみやこ杣木(そまぎ)等の木材利用の状況を視察し、公共建築における市内産木材の利用に関する今後の課題等を確認しました。



実地視察



産業交通水道委員会 (しまもと京司委員長)

報告聴取

- ①令和元年京都観光総合調査(6/26)
混雑対策としての観光客分散化の取組やウィズコロナ、ポストコロナの状況における観光政策の在り方について議論しました。
- ②高雄地域への均一運賃区間の拡大等(8/21)
右京区高雄地域において、令和3年3月から実施予定の市バス均一運賃区間の拡大を受け、今後の民間事業者との連携や地域の活性化に向けた取組などを議論しました。



委員会質疑